



大志崎さろん



鹿嶋市

サロン運営団体名	大東あゆみの会	1回の参加人数	10名
開催日 及び開催頻度	月1回 第3水曜日 10:00~12:00	参加費 (1人1回あたり)	100円
開催拠点	大志崎地区農村集落センター	広報方法	サロン開催ポスター(月1回)、 社協広報誌、回覧板(随時)

開催地域の様子

- 高齢化が進み、自治会の高齢化率は5割以上となっています。近所に小さい商店が一軒ありますが、生活必需品を揃えたりするには物足りなく、少し大きなスーパーやホームセンター、薬局、病院に行くとなると6キロ以上離れた場所まで行くことになります。とても不便な場所です。



サロンの取り組む動機・サロンの将来像

- 6年前、地区社会福祉協議会にサロンの立ち上げから運営を始めるまで、地区の状況としては地域の人たちが集う場所がありませんでした。そのため、特に高齢者は家に閉じこもり、話し相手もなく、外に出かけることもなく、フレイルに陥る危険がありました。そこで地区社協では、自治会から集落センターを提供していただき、近所の方と高齢者と、世代を超えた交流のできる場所を作りたいとの思いから始めました。コロナ禍で心配なこともあります。もっと参加者を増やしたり、多世代交流ができるようなプログラムにも取り組んだりしてみたいです。



主な活動内容

- 年齢問わず、サロン参加募集を行っていますが、平日の午前中ということで高齢者が多く集まります。
- 一人一人が主役となって講師となり、ゴムを使った体操、口の体操（言葉の発声練習）に、手先を使って絵手紙、ちぎり絵、折り紙をしている。輪投げ大会を開催したこともあります。
- 薬剤師による薬の話、市役所介護長寿課や包括支援センターによる健康講話に耳を傾けることもあります。
- 今後ですが、ポッチャに挑戦したいと思います。

サロンのウリ

- 参加者には、一人一役をお願いしており、窓開け、集金、テーブルや椅子のセッティング、消毒等、皆ができることを率先してやっていただいています。
- 活動プログラムはスタッフで決めず、参加者全員で話し合って決めている。例えば、手芸などの参加者の特技を活かし、何事も参加者全員で行うことを心がけています。
- コロナ禍ではテーブルや椅子の消毒など、事前事後に取り組むことが増えたが、地区社協のボランティア、地域福祉推進委員の方が手伝ってくださいます。皆の意見に耳を傾け、チャレンジできるようにしています。

サロン運営上の協力者

- 鹿嶋市社会福祉協議会
- 鹿嶋市役所
- 自治会
- 民生委員
- 地区社協

運営費の確保方法

- 鹿嶋市社会福祉協議会からの助成金
- 参加者からの参加費

感染対策上の工夫点

- 感染拡大防止のため、昨年度は丸一年活動休止しました。
- 令和4年4月より活動開始しました。
- お茶お菓子の提供は中止し、個人で水筒などを持参しています。
- 鹿嶋市社協から頂いた消毒液を使用しています。

助成金の活用によりパワーアップした活動

- 一番の問題は、運営資金です。貴基金、社協より助成金をいただけて助かります。しかし、農村地特有の会場不足で市公民館まで徒歩では30分の距離のため、農村集落センターを使用しています。（使用料1,000円）この度は、はんどちゃん基金でポッチャを購入して体力向上に努めました

サロンをやってみてよかったこと

- 参加者の、「今日はとっても楽しかった。」と、いっぱい笑顔で帰路につく時が一番うれしい時です。

これからサロン活動を始め方へのメッセージ

- 開催することを「大変だなあ」と重く考えないことです。例えばひとりでも二人でも家の外へ連れ出せたら大成功だと思います。そのあとは、「友達がともだちを呼びます。」私達のスタート時は、わずか二人の参加者でした。

